



2025 年 10 月 31 日

各 位

会社名 日本ガイン株式会社
(登記社名 日本碍子株式会社)
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード番号 5333 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先責任者 執行役員 財務部長 津久井 英明
(TEL 052-872-7230)

剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 31 日開催の取締役会において、2025 年9月 30 日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正につきまして、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせ致します。

記

1. 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025 年4月 28 日公表)	前期実績 (2025 年3月期中間)
基 準 日	2025 年9月 30 日	同左	2024 年9月 30 日
1株当たり配当金	38 円 00 銭	33 円 00 銭	30 円 00 銭
配当金総額	11,048 百万円	—	8,853 百万円
効力発生日	2025 年 12 月 2 日	—	2024 年 12 月 3 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025 年4月 28 日公表)	33 円 00 銭	33 円 00 銭	66 円 00 銭
今回修正予想		38 円 00 銭	76 円 00 銭
当期実績	38 円 00 銭		
前期実績 (2025 年3月期)	30 円 00 銭	30 円 00 銭	60 円 00 銭

3. 剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様の利益を重視し、持続的な企業価値の向上と利益還元を、経営の最重要政策の一つとして位置づけております。

配当金につきましては、事業リスクの変化に応じた純資産管理に加え、3年程度の期間業績(ROE)との連動も考慮し、純資産配当率3%及び連結配当性向 30%程度を中期的な目処として、さらにはキャッシュ・フローの見通し等も勘案して配分することとしております。

本日開示いたしました「2026 年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2026 年3月期中間連結会計期間の業績予想値と実績値との差異及び2026 年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社の業績は、事業実勢に加え為替の円安影響もあり、堅調に推移しております。米国の関税政策などのマイナス影響に対して売価改善を図るなどして、通期では、前期並びに従来予想を上回る営業利益を達成できる見通しであります。

一方、同じく本日開示いたしました「NAS電池の製造及び販売活動終了に関するお知らせ」及び「当社と当社の完全子会社(NGK エレクトロデバイス株式会社)の会社分割(簡易吸収分割)及び当社完全子会社間の吸収合併に関するお知らせ」のとおり、業績低迷が続く事業群に対して判断を行い、事業構造改革費用を特別損失として計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益は 2025 年4月公表値を据え置いております。

しかしながら、不採算事業に対する経営判断により、今後の業績やキャッシュ・フローの改善が着実に進むと共に、事業実勢のプラスによる営業利益の増加の確実性が高まることから、事業の状況を踏まえた資金見通し、将来の成長に必要となる経営資源、当社の配当政策を総合的に勘案し、中間配当及び期末の配当予想について、4月の予想から1株あたり5円増配の 38 円とし、年間 76 円とさせていただきます。

以 上